

# 周産期医療と救急医療の確保と連携に関する懇談会

## 開催要綱

### 1. 趣旨

現在、周産期の救急医療体制の充実が全国的に非常に重要になっていることから、妊産婦が安心して子供を産み・育てることができるよう、早急に対策を講ずる必要がある。このため、周産期の救急医療体制の強化が図られるよう、周産期医療と救急医療の確保と連携の在り方について検討する。

### 2. 検討事項

- (1) 周産期医療と救急医療の確保の在り方
- (2) 周産期医療と救急医療の連携の基本的枠組み
- (3) その他

### 3. 構成員

厚生労働大臣及び構成員（別紙）で構成する。

### 4. 運営

- (1) 本会議の庶務は、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課と協力しつつ、同省医政局指導課で行う。
- (2) 議事は公開とする。
- (3) 本懇談会の構成員については、厚生労働大臣が委嘱する。

### 5. 検討スケジュール

12月中を目途に取りまとめ予定。

(別紙)

## 構成員名簿

阿真 京子	「知ろう！小児医療 守ろう！子ども達」の会 代表
有賀 徹	昭和大学医学部救急医学講座 主任教授
池田 智明	国立循環器病センター周産期科 部長
海野 信也	北里大学医学部産婦人科学 教授
大野 泰正	大野レディスクリニック 院長
岡井 崇	昭和大学医学部産婦人科学教室 主任教授
嘉山 孝正	山形大学医学部長 脳神経外科学教授 救急部長
川上 正人	青梅市立総合病院 救命救急センター長
木下 勝之	順天堂大学医学部産婦人科学講座 客員教授
杉本 壽	大阪大学医学部救急医学 教授
田村 正徳	埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター長
藤村 正哲	大阪府立母子保健総合医療センター 総長
横田順一郎	市立堺病院 副院長

(敬称略、五十音順)

## 短期目標として実現可能な対策について（骨子案）

### 1. 患者の病態と受入施設のマッチング

#### ① 病態の分類（必要な対応・処置と緊急度）

- ・病態に応じた受入判断基準について実態を踏まえて検討
- ・患者の病態や医療機関の体制を踏まえ、医療機関ごとに救急患者の受入判断基準や他科との連携体制を構築

#### ② 施設の機能による分類

- ・施設の診療機能を明示し関係者間で共有
- ・施設の診療機能に応じた受入判断基準や地域における役割分担の明確化
- ・救急患者受入のための空床確保とその補償の充実

#### ③ 地域のネットワークの促進

- ・関係者間で顔が見える体制の整備を進めるため、地域の医師等を対象に、情報交換や事例検証のための場を設置
- ・必要に応じ、県境を越えた医療機関間のネットワークを構築

### 2. 情報の伝達及び効果的活用

#### ① 救急医療機関の状況（病床数、人員）の伝達とその迅速化

- ・地域の実情に応じ、既存ネットワークの活用も含め、より良いシステムを検討
- ・医療機関の状況に応じた受入判断基準の策定

#### ② 情報の統合、センター化

- ・地域の実情を踏まえつつ、救急医療情報システムと周産期救急情報システムとを統合・連携強化
- ・周産期救急情報システムは、かかりつけ産科医療機関と受入医療機関とが情報を共有できるシステムであることが望ましい

- ・地域によっては、県境を越えて共有できる情報システムも必要

### ③ 搬送先選定の迅速化（コーディネータの配置）

- ・ コーディネータを地域ごとに設置
- ・ コーディネータは必ずしも医師でなくともよいが、質の確保のため、地域医療に従事していた経験等の要件を設定

### ④ 患者側との情報交換

- ・ 母親に対する教育・指導の充実、助産師や保健師の活用
- ・ 緊急時の対処方法等について家族への啓発活動への支援
- ・ 積極的な情報提供の実施

## 3. 施設の機能充実と人員不足への対応

### ① 病床数の適正化（特に NICU の増床）

- ・ 未熟児の増加にも対応できるよう NICU 病床を確保
- ・ NICU に配置する医師、看護師の確保

### ② 勤務環境の改善

- ・ 産科医、新生児科医、麻酔科医の確保と勤務環境の改善が必要
- ・ 地域の開業医の活用と連携体制の構築
- ・ 重点化、集約化による体制の強化

### ③ コメディカル、メディカルクラークの活用

- ・ リスクの軽減に資する母親に対する教育・指導の充実
- ・ コーディネータとしての参画と必要な研修体制等の整備
- ・ 情報システムの入力や事務支援のための研修と積極的参画

## 4. その他

# 救急医療情報システム

救急患者を迅速かつ適切な医療機関へ搬送するため、医療機関の診療状況などの応需情報を収集・蓄積し、消防機関へ提供するシステム。

## 導入状況

### 43都道府県で導入

※ システム未整備の4県（山形県、島根県、宮崎県、沖縄県）については、消防機関と医療機関の連携が構築されており、現時点では、救急患者の受入に支障がないとのこと。

当日の対象医療機関の応需情報が科目ごとに一覧で参照できる。

### 栃木県救急医療情報システムの例

応需状況モニター画面

再表示間隔: 再表示なし | 生の条件で表示設定する | 最新情報表示

※現在このページは再表示を行いません。 | 閉じる

消防管轄: 宇都宮

医療機関情報		内科	外科	整形外科	小児科	産科	皮膚科	泌尿科	呼吸器科	消化器科	泌尿器科	耳鼻科	眼科	歯科	心臓血管科	脳神経科
◎ 宇都宮記念病院	TEL(搬送) 028-622-1991	診察	○	○	○	○	○	△	-	-	○	-	△	-	-	-
		手術	×	×	×	×	×	×	-	-	×	-	×	-	-	-
		空床	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-
		空床	×	×	×	×	×	×	-	-	×	-	×	-	-	-
		空床	×	×	×	×	×	×	-	-	×	-	×	-	-	-
		空床	×	×	×	×	×	×	-	-	×	-	×	-	-	-
最終更新 2006/10/27 12:58		特記事項 皮膚科外来診療室、第2、第4火曜日午後のみ、神経内科外来診療室、木曜日午後のみ 外科、整形外科の手術の診療は電話にてご確認ください。														
◎ 宇都宮市立総合医療センター	TEL(搬送) 028-653-1001	診察	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	-	-	-	-
		手術	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	-	-	-	-
		空床	○	×	×	×	×	×	-	×	×	×	-	-	-	-
		空床	○	×	×	×	×	×	-	×	×	×	-	-	-	-
		空床	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	-	-	-	-
最終更新 2006/10/27 09:00:46		特記事項														
◎ 宇都宮市夜間休日救急診療所	TEL(搬送) 028-665-5111	診察	△	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		手術	×	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		空床	×	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		空床	×	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最終更新 2006/10/27 08:56:50		特記事項														
◎ 宇都宮第一病院	TEL(搬送) 028-665-5111	診察	○	○	○	○	-	○	△	△	-	○	○	-	-	-
		手術	×	○	○	○	-	○	×	×	-	○	○	-	-	-
		空床	○	○	○	○	-	○	×	○	-	○	○	-	-	-
		空床	○	○	○	○	-	○	×	○	-	○	○	-	-	-
最終更新 2006/10/27 08:47:02		特記事項														

# 実際のモニター画面

応需モニター - とちぎ医療情報ネット - Microsoft Internet Explorer



応需モニター

マークの説明

再表示間隔:

※現在このページは再表示を行いません。

消防管轄

宇都宮

		宇都宮																		
医療機関情報		内科	外科	整形	消化	小児	循環	皮膚	泌尿	産婦	呼吸	脳外	神内	麻酔	耳鼻	眼科	気食	形成	心血	精神
<b>● 宇都宮記念病院</b> 宇都宮市大通り5-2-14 TEL(搬送) 028-622-1991  最終更新 2006/10/27 12:37:58	診療	○	○	○	○	-	○	△	-	-	○	-	△	-	-	-	○	-	-	-
	手術	×	×	×	×	-	×	×	-	-	×	-	×	-	-	-	×	-	-	-
	空男	○	○	○	○	-	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-
	床女	×	×	×	×	-	×	×	-	-	×	-	×	-	-	-	×	-	-	-
		特記事項																		
		皮膚科外来診療は、第2、第4火曜日午後のみ 神経内科外来診療は、木曜日午後のみ 外科、整形外科の午後の診療は電話にてご確認ください																		
<b>● 宇都宮社会保険病院</b> 宇都宮市南高砂町11-17 TEL(搬送) 028-653-1001  最終更新 2006/10/27 09:00:46	診療	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	-	×	-	○	-	-	-	-
	手術	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	-	×	-	×	-	-	-	-
	空男	○	×	×	×	×	×	-	×	-	×	×	-	×	-	×	-	-	-	-
	床女	○	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	-	×	-	×	-	-	-	-
		特記事項																		
<b>● 宇都宮市夜間休日救急診療所</b> 宇都宮市竹林町968 TEL(搬送) 最終更新 2006/10/27 08:56:50	診療	△	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	手術	×	-	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	空男	×	-	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	床女	×	-	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		特記事項																		
<b>● 宇都宮第一病院</b> 宇都宮市宝木本町2313 TEL(搬送) 028-665-5111  最終更新 2006/10/27 08:47:02	診療	○	○	○	○	-	○	△	△	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
	手術	×	○	○	○	-	○	×	×	-	○	○	×	-	-	-	-	-	○	-
	空男	○	○	○	○	-	○	×	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
	床女	○	○	○	○	-	○	×	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
		特記事項																		

# 周産期救急情報システム

周産期医療に関する診療科別医師の存否および勤務状況、病床の空床状況、手術、検査及び処置の可否、重症例の受け入れ可能状況並びに搬送に出向く医師の存否等に関する情報を収集、提供する。

- 周産期救急情報システムは、45自治体で導入済み。
- うち、空床状況等の応需状況を提供するコンピューターシステムを設置しているのは37自治体。  
(平成20年10月時点)

## 【東京都の例】

下記の項目ごとに○×で表示

### 産科

- ・産科空床
- ・ハイリスク患者
- ・産科手術

### 新生児

- ・NICU(重症・中症)
- ・人工呼吸
- ・医師添乗
- ・外科手術
- ・心臓手術

No	医療機関名称	産科			新生児					最新更新時刻	
		産科空床	ハイリスク患者	産科手術	重症	中症	人工呼吸	医師添乗	外科手術		心臓手術
	診療能力情報照会	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		O	O	O	X	X	X	X	O	O	
		X	X	X	X	X	X	X	O	O	
	(最新情報)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		X	X	X	X	X	X	X	X	X	
	連絡先	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
	印	O	X	O	X	X	X	X	X	X	
		X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		O	X	X	O	O	O	O	O	O	
		X	X	X	X	X	X	O	X	X	
		X	X	X	X	X	X	X	O	X	

図：情報端末画面イメージ(東京都)

周産期医療ネットワークに関する実態調査について(平成20年12月15日現在)

番号	都道府県	周産期医療協議会の設置の有無	NICUの充足状況			MFICUの充足状況			周産期医療関係者研修の実施の有無	コンピューターによる周産期救急情報システム			ハイリスク妊婦の搬送に係るコーデイナーの配置の有無	ハイリスク新生児の搬送に係るコーデイナーの配置の有無	他県との連携状況の有無	助産所のネットワークへの組み入れの有無	管内に複数の総合周産期母子医療センターが指定され、周産期医療の調整を行う基幹病院の有無
			充足	不足	未把握	充足	不足	未把握		設置の有無	他システムとの連携	更新頻度					
1	北海道	○	○			○			○	○	単独	1日1回以上の更新が基本	×	×	×	×	×
2	青森県	○	○			○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に1回更新	×	×	×	×	—
3	岩手県	○		○		○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に2回更新	×	×	×	—	—
4	宮城県	○		○		○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	—
5	秋田県	○	○			○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね12時間に1回更新	×	×	×	—	—
6	山形県	○		○			○		○	×	—	—	×	×	×	—	—
7	福島県	○	○			○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	—
8	茨城県	○		○		○			○	○	一般の救急医療のシステム	病院により異なる	×	×	×	○	×
9	栃木県	○		○		○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に1回更新	○	○	×	×	×
10	群馬県	○		○		○			○	○	単独	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	—
11	埼玉県	○		○			○		○	○	単独	概ね1日に1回更新	×	×	×	×	—
12	千葉県	○		○			○		○	○	一般の救急医療のシステム	1日に2回更新	○	×	×	○	×
13	東京都	○		○			○		○	○	単独	リアルタイムで更新	×	×	×	○	×
14	神奈川県	○		○			○		○	○	一般の救急医療のシステム	定期的に朝夕2回以上	×	×	×	○	×
15	新潟県	○		○			○		○	○	単独	概ね1日に1回更新	×	×	○	○	×
16	富山県	○		○		○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に1回更新	×	×	○	—	—
17	石川県	○	○			○			○	○	単独	リアルタイムでの更新	×	×	○	○	—
18	福井県	○		○		○			○	○	単独	概ね1日に1回更新	×	×	○	○	—
19	山梨県	○	○			○			○	×	—	—	×	×	×	○	—
20	長野県	○	○			○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	—
21	岐阜県	○	○				○		×	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	—
22	静岡県	○	○			○			○	○	単独	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	×
23	愛知県	○		○			○		○	○	単独	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	—
24	三重県	○		○			○		○	×	—	—	×	×	○	○	—
25	滋賀県	○		○			○		○	○	単独	概ね1日に1回更新	×	×	○	○	—
26	京都府	○		○			○		○	○	単独	概ね1日に2回更新	○	○	○	○	—
27	大阪府	○		○			○		○	○	単独	概ね12時間に1回更新	○	×	○	○	○
28	兵庫県	○	○			○			○	○	単独	リアルタイムで更新	×	×	○	○	—
29	奈良県	○		○		○			○	○	単独	概ね1日に1回更新	○	×	○	○	—
30	和歌山県	○	○			○			○	○	単独	最低1日1回以上更新	×	×	○	○	—
31	鳥取県	○	○			○			×	×	—	—	×	×	×	×	—
32	島根県	○	○			○			○	○	その他システムと連携	変更があれば更新	×	×	×	—	—
33	岡山県	○		○			○		○	○	一般の救急医療のシステム	医療機関により、頻度は異なる	×	×	×	×	○
34	広島県	○		○		○			○	○	単独	リアルタイムでの更新	×	×	×	×	○
35	山口県	○	○			○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に1回で更新を依頼	×	×	×	×	—
36	徳島県	○		○		○			○	×	—	—	×	×	○	—	—
37	香川県	○	○			○			○	○	一般の救急医療のシステム	朝と夕方の各1回	×	×	×	○	×
38	愛媛県	○	○				○		○	○	一般の救急医療のシステム	1日に2回更新を依頼	×	×	×	○	—
39	高知県	○	○			○			○	○	一般の救急医療のシステム	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	—
40	福岡県	○	○			○			○	○	単独	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	○
41	佐賀県	○	○				○		○	×	—	—	×	×	×	—	—
42	長崎県	○		○		○			×	×	—	—	×	×	×	×	—
43	熊本県	○		○			○		○	○	単独	入退院の動きがあった時点での更新	×	×	×	—	—
44	大分県	○	○			○			○	○	単独	概ね1日に1回更新	×	×	×	○	—
45	宮崎県	○	○			○			○	×	—	—	×	×	×	○	—
46	鹿児島県	○	○			○			○	×	—	—	×	×	×	○	—
47	沖縄県	○	○			○			○	×	—	—	×	×	×	×	×
合計		47	24	23	0	33	12	2	44	37			5	2	12	29	4



# 救急医療情報の把握・提供体制等に関する調査について（結果概要）

平成20年11月20日  
医政局指導課

## 1. 目的等

本年10月に東京都において産科救急患者が死亡するという事案を受け、同年10月27日に、各都道府県に対し、周産期母子医療センターの診療体制等の確認と改善の検討を要請する通知を発出した。

当該要請の中で、周産期救急情報システム及び救急医療情報システムの運用状況を確認し、必要があれば適切に改善することを検討することとしている。

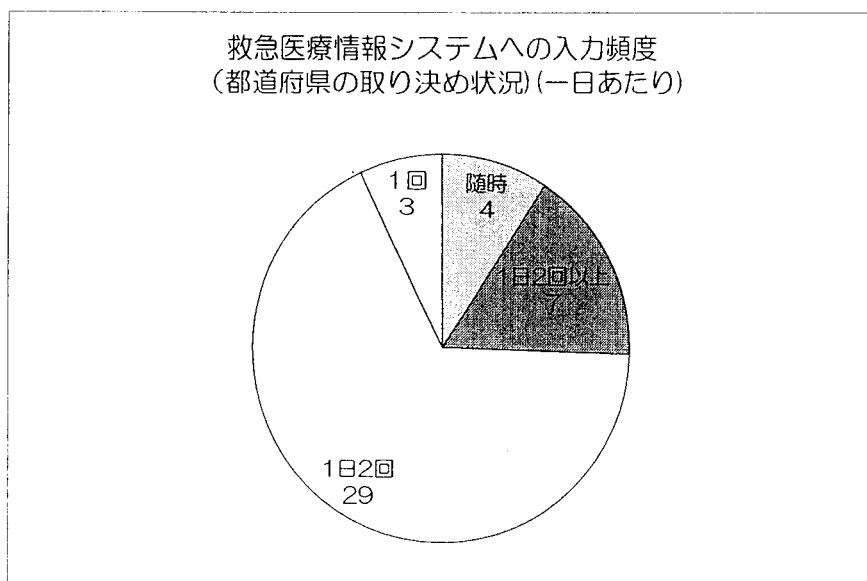
## 2. 結果（要点）

### (1) 救急医療情報システム導入状況

救急医療情報システムについては、現在43県（都道府を含む）が導入している。

### (2) 更新頻度

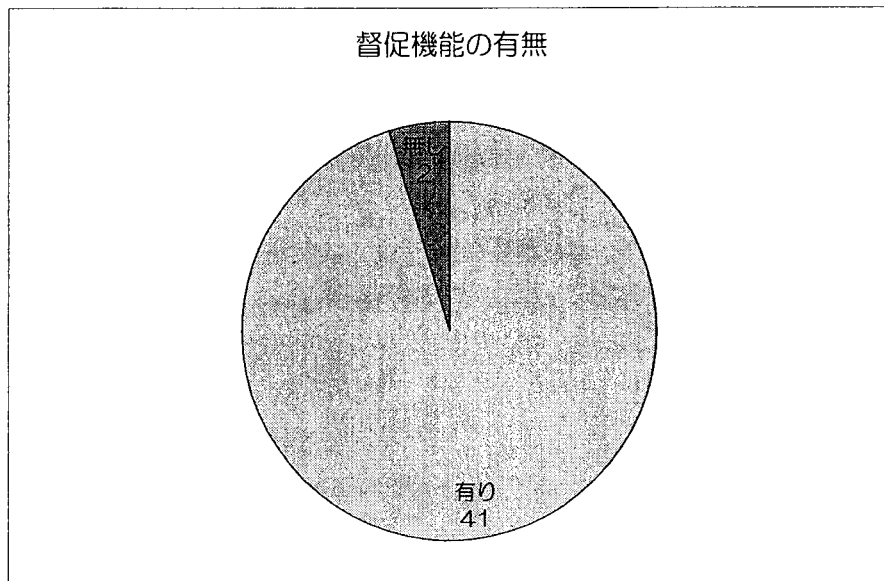
都道府県が医療機関に要請している救急医療情報システムの入力頻度については、「随時」が4県、「1日2回以上」が7県、「1日2回」が29県であり、大半が「1日2回」又はそれ以上を基準としている。



※「随時」とは、定時入力がなく、変更があればその都度入力しているもの

### (3) 督促状況

入力督促状況については、「督促を行っている」が41県であり、その方法（複数回答）については、「救急医療情報センターの職員が行っている」が26県、「システムが自動的にしている」が25県である。

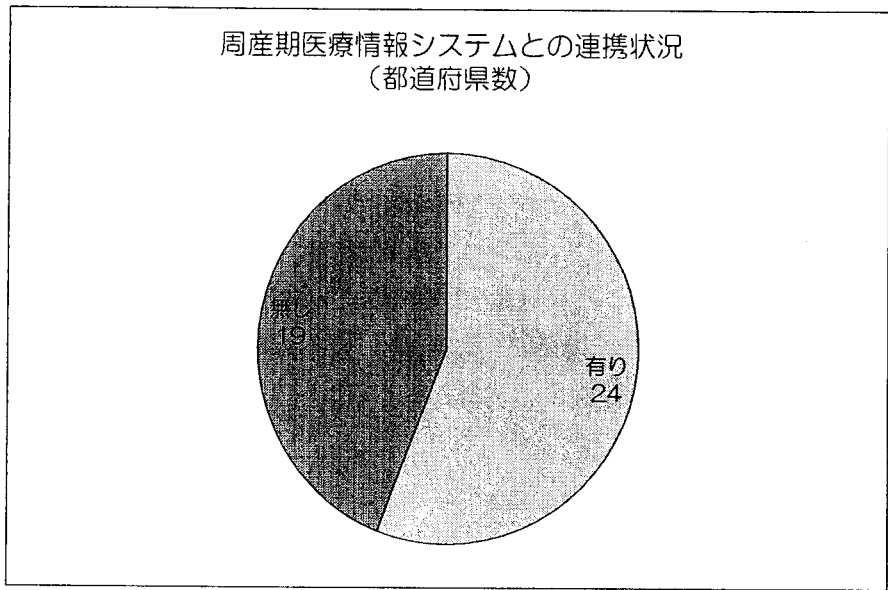


### (4) 更新頻度を高めるために行った具体的工夫（主なもの）

- ・ 時間内に更新がない場合、システムにより自動督促、さらに更新がない場合は職員が電話にて再度督促を行っている
- ・ 医師会報等を活用した入力更新の周知
- ・ 最新の状況を入力するように定期的に依頼、入力訓練の実施
- ・ 参加している医療機関に訪問して個別に要請
- ・ システムリニューアルにより、医療機関が入力しやすい画面構成・機能強化を図ったほか、専用端末を廃止して、全機能インターネット運用とし、どのパソコンや携帯電話からでも入力を可能とした
- ・ システムに自動督促機能を付加するとともに、医療機関が入力困難な場合は状況を聴取し代行入力を実施
- ・ 各医療機関の入力体制及び連絡網の整備（責任体制及び入力者の明確化）

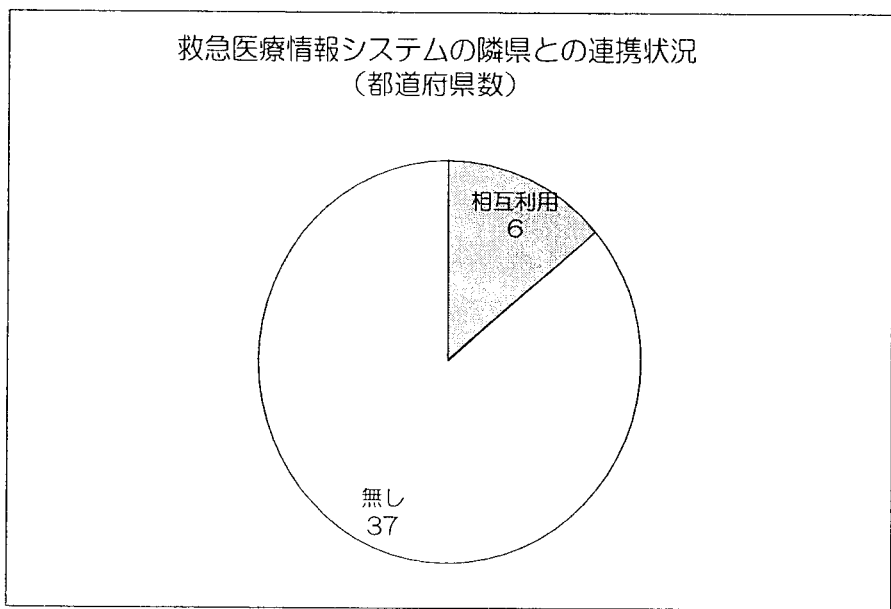
**(5) 周産期医療情報システムが使用（閲覧）できるか**

救急医療情報システムから周産期医療情報システムが使用（閲覧）できる  
ところは24県である。



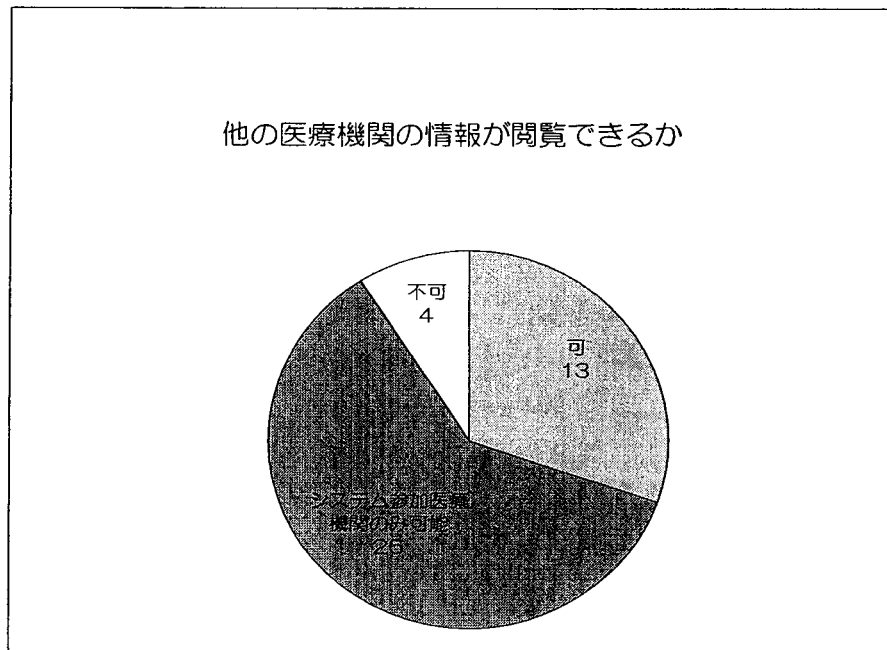
**(6) 隣県の救急医療情報システムが使用（閲覧）できるか（隣接県との連携）**

隣接県と「相互利用」しているところが6県である。



### (7) 医療機関から情報が閲覧できるか

県内の医療機関が情報を閲覧できる場所は39県であり、そのうち、システム参加医療機関のみ可能であるところは26県である。



### (8) 救急医療情報の提供体制において課題と考えている事項（主なもの）

- ・ 医療機関の応需情報の入力率の向上
- ・ 本県のシステムは、医療機関において活用されているが、救急搬送を担う消防本部では主たる手段として活用されない。活用されていない理由等を分析した上で、有効活用されるシステムへの改良が課題
- ・ 情報の即時性を求めると、参加医療機関へより一層の協力を求めることになるが、医療機関の負担増につながるため困難であり今後の課題
- ・ 全ての近隣府県との情報システムのリンクが有効と考えているが、一部実施できていない
- ・ 隣県との情報共有、システムの連携
- ・ 最終的に救急搬送機関が搬送先医療機関を決定するにあたっては直接相互に電話等で確認を行う必要があることから、平時において、救急医療機関と救急搬送機関のヒューマンネットワーク構築が必要

## 具体的な検討事項について（案）

### I. 救急医療情報システムの機能増強について

（例）

- ・ 周産期救急に関する情報の共有及び強化
- ・ 医療機関における応需情報の精度の向上
- ・ 救急現場からの患者情報（バイタル情報、画像情報等）の収集・伝達機能の強化
- ・ 関係医療機関間で応需情報を共有化

### II. 周産期救急情報システムの機能増強について

（例）

- ・ 医療機関における応需情報の精度の向上
- ・ かかりつけ医を含む関係医療機関間で応需情報を共有化

### III. 各情報システムの運用体制の強化について

（例）

- ・ 各情報システムの統合又は連携の強化
- ・ 医療機関の受入可否を判断する人員の配置
- ・ 患者の状態や医療機関の応需情報から、搬送先医療機関を決めるルールの策定
- ・ 顔が見える人的関係構築
- ・ 情報システム及びその運用などを検証・改善していく体制の整備

### IV. 新情報システムによる実証事業で検証が必要な事項について

（例）

- ・ 救急患者の受入が効率化・円滑化したか否か
- ・ 業務負担がかえって増加していないか